2014年9月1日
(一社)繊維評価技術協議会

ケアラベル現行JIS・新JIS(原案)対比表

現　行 (JIS L 0217)			新 規 格 (JIS L 0001)			
1. 洗い方(水洗い)の記号			**1. 洗濯処理の記号**			
101	101:液温は95℃を限度とし,洗濯ができる		190	190:液温は, 95 ℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる。		
(該当なし)			170	170:液温は, 70 ℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる。		
102	102:液温は60℃を限度とし,洗濯機による洗濯ができる		160	161	160: 60 ℃を限度とし, 通常の洗濯処理 161: 60 ℃を限度とし, 弱い洗濯処理 (注:60℃から30℃までは表現を一部省略)	
(該当なし)			150	151	150: 50 ℃を限度とし, 通常の洗濯処理 151: 50 ℃を限度とし, 弱い洗濯処理	
103	104	103:液温は40℃を限度とし,洗濯機による洗濯ができる 104:液温は40℃を限度とし,洗濯機の弱水流又は弱い手洗いがよい	140	141	142	140:40 ℃を限度、通常の洗濯処理 141:40 ℃を限度、弱い洗濯処理 142:40 ℃を限度、非常に弱い洗濯処理
105		105:液温は30℃を限度とし,洗濯機の弱水流又は弱い手洗いがよい	130	131	132	130:30 ℃を限度、通常の洗濯処理 131:30 ℃を限度、弱い洗濯処理 132:30 ℃を限度、非常に弱い洗濯処理
106		106:液温は30℃を限度とし,弱い手洗いがよい 洗濯機は使用できない	110			110:液温は, 40 ℃を限度とし, 手洗いによる洗濯処理ができる。
107		107:家庭で水洗いは出来ない	100			100:洗濯処理はできない。
2. 塩素漂白の可否の記号			**2. 漂白処理の記号**			
201		201塩素系漂白剤による漂白ができる	220	210		220:塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができる。 210:酸素系漂白剤による漂白処理ができるが、塩素系漂白剤による漂白処理はできない。
202		202:塩素系漂白剤による漂白はできない	200			200:漂白処理はできない。
3. 絞り方の記号			**3. 絞り方の記号**			
501	502	501:手絞りの場合は弱く、遠心脱水の場合は短時間で絞るのがよい 502:絞ってはいけない	(該当なし)			

現　行（JIS L 0217）

4. 干し方の記号

（タンブル乾燥）

（該当なし）

（干し方）

601	602	
		601：吊干しがよい 602：日陰の吊干しがよい

603	604	
		603：平干しがよい 604：日陰の平干しがよい

5. アイロンの掛け方の記号

301	302	303	
			301：210℃を限度とし、高い温度（180℃～210℃まで）で掛けるのがよい 302：160℃を限度とし、中程度の温度（140℃～160℃まで）で掛けるのがよい 303：120℃を限度とし、低い温度（80℃～120℃まで）で掛けるのがよい

304	
	304：アイロン掛けはできない

6. ドライクリーニングの記号

（ドライクリーニング）

401	
	401：ドライクリーニングができる。溶剤は、パークロロエチレンまたは石油系の物を使用する

402	
	402：ドライクリーニングができる。溶剤は、石油系の物を使用する

403	
	403：ドライクリーニングはできない

（ウエットクリーニング）

（該当なし）

新　規　格（JIS L 0001）原案

4. 乾燥処理の記号

（タンブル乾燥処理）　*家庭でのタンブル乾燥のみの記号

320	310	300	
			320：タンブル乾燥が可能、高温乾燥：排気温度の上限は最高80 ℃ 310：タンブル乾燥が可能、低温乾燥：排気温度の上限は最高60 ℃ 300：タンブル乾燥禁止

（自然乾燥処理）

440	445	430	435	
				440：脱水後、つり干し乾燥がよい 445：脱水後、日陰での吊干し 430：濡れ吊干し乾燥がよい乾燥がよい 435：日陰での濡れ吊干し乾燥がよい

420	425	410	415	
				420：脱水後、平干し乾燥がよい 425：脱水後、日陰の平干し乾燥がよい 410：濡れ平干し乾燥がよい 415：日陰の濡れ平干し乾燥がよい

5. アイロン仕上げ処理の記号

530	520	510	
			アイロン仕上げ処理ができる。 530：底面温度200 ℃を限度 520：底面温度150 ℃を限度 510：底面温度110 ℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げ

500	
	500：アイロン仕上げ処理はできない。

6. 商業クリーニング処理の記号

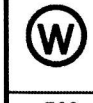
（ドライクリーニング処理の記号）

620	621	
		パークロロエチレン及び記号Ⓕの欄に規定の溶剤でのドライクリーニング処理ができる。 620：通常の処理 621：弱い処理

610	611	
		石油系溶剤（蒸留温度150 ℃～210 ℃，引火点38 ℃～）でのドライクリーニング処理ができる。 610：通常の処理 611：弱い処理

600	
	600：ドライクリーニング処理ができない。

（ウエットクリーニング処理の記号）

710	711	712	
			ウエットクリーニング処理ができる。 710：通常の処理 711：弱い処理 712：非常に弱い処理

700	
	700：ウエットクリーニング処理はできない。